

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の数	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	コミュニティスクールをはじめ、現代社会では学校・地域・保護者のつながりが不可欠であるが、本市では地域全体のつながり・連携をより強固にできる余地がまだある。また、青年、保護者、高齢者など地域の優秀な人材を活用しているが、更なる活用の余地がある。	くらぶの指導者やアシスタントボランティア、土曜の教育サポーターに、地域の人材を活用する。 学校応援団やスポーツ推進委員等に協力を仰ぎ、学校区を越えて地域一体となった土曜日の学習体験の場を提供する。	くらぶの指導者やアシスタントボランティア、土曜の教育サポーターに、地域の人材を活用する。 学校応援団やスポーツ推進委員等に協力を仰ぎ、学校区を越えて地域一体となった土曜日の学習体験の場を提供する。	参加する児童が多様な活動を選択し、参加できる。また、地域の人材側も児童と交流でき、地域で児童の健全育成を見守ることで、地域の人材同士の交流やつながりが生まれ、地域全体が活発になる。	新規開設クラブ数	1	教室	1	2	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた ・「池田小-ちいさな工作室」、「学校外-ボルダリング」を新設した。どちらも市内事業者との連携である。 ・新設に伴う、指導者同士の交流や、土曜の活動サポーターの活動・交流につながったと考える。 ・本事業は平成14年度から実施しているもので、指導者の高齢化等から、開設くらは減少が見込まれる。来年度以降も、本目標を継続することで、児童の活動の選択をを広げ、地域交流を活発にすることを目標とする。
③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	年々多様な体験活動が増えているが、経済格差や地域格差といった問題から、児童の体験の機会にも格差が生じている。	これまでも行っているが、学校区を越えた多様な体験の場を児童に提供する。	これまでも行っているが、学校区を越えた多様な体験の場を児童に提供する。	多様な活動や体験を通じた交流から、青少年の健全な育成が望め、将来的には地域の中で多様な体験活動を行う人材育成につながる。	体験活動に対する ・保護者 ・児童の満足度（アンケート調査）	・92 ・97	%	・100 ・94 ・97	100	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる ・目標値には至らなかったが9割を上回る結果となり、本事業への児童・保護者両者からの満足度が高いことが分かった。 ・来年度も本目標を継続し、体験活動の充実と満足度の向上を目標とする。